

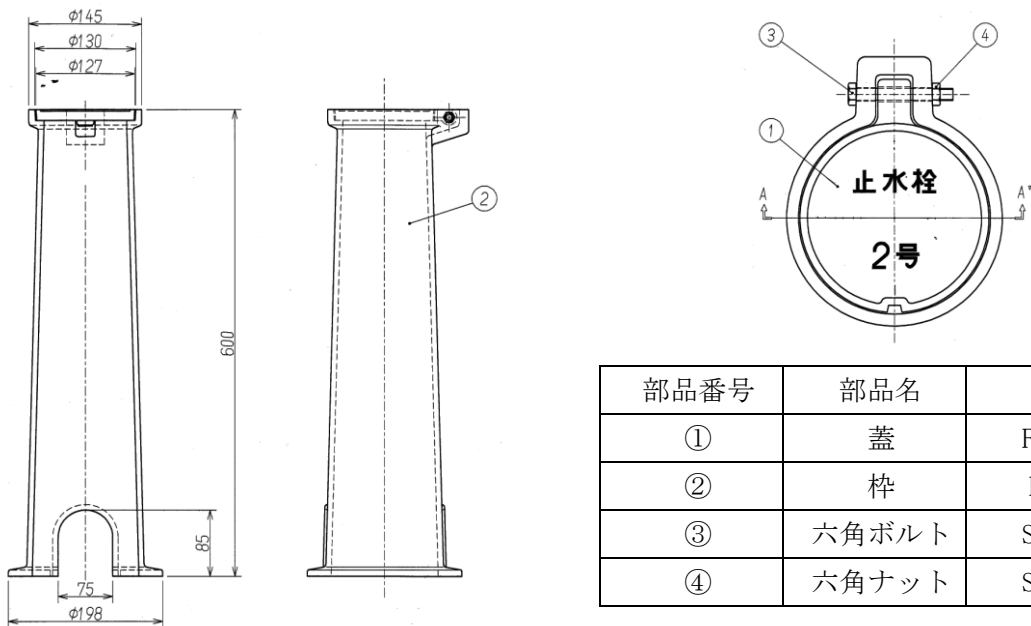
芦屋市規格品

## 芦屋市規格品

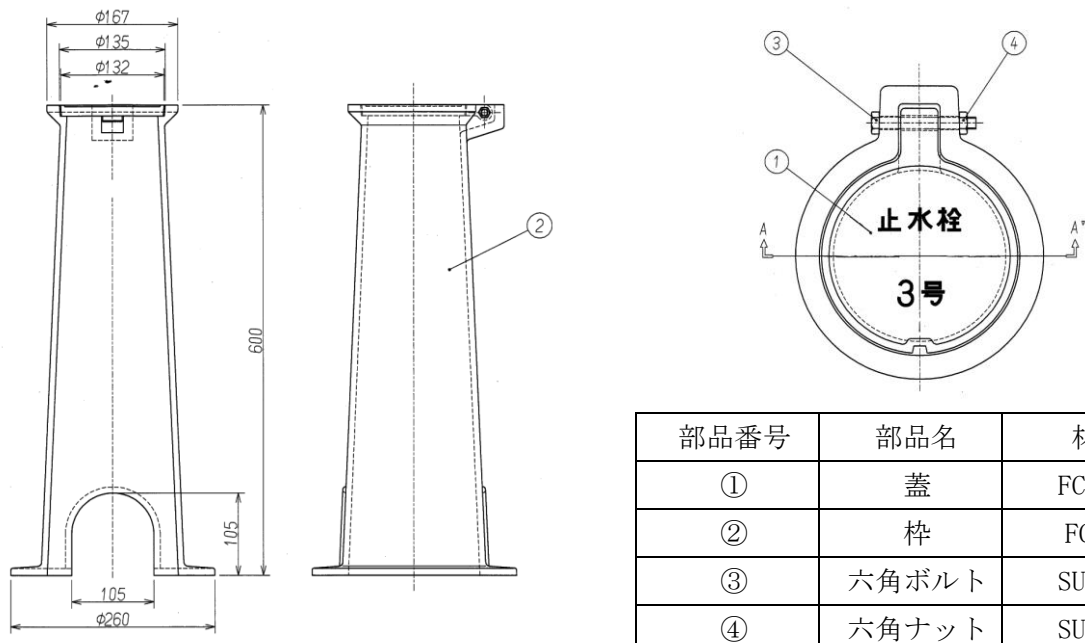
### 1. 止水栓ボックス

止水栓ボックスについては、 $\phi 30\text{mm}$  以下の止水栓を設置した場合は、下記の止水栓ボックス 2号を使用すること。また、 $\phi 40\text{mm}$  と  $\phi 50\text{mm}$  については、下記の止水栓ボックス 3号を使用すること。なお、規格としては、高さ寸法が  $H=600\text{mm}$ 、蓋に鋳出文字で「止水栓」と「2号」又は「3号」と記載したものとする。材質については同等品以上、他の寸法については近似した寸法のものであれば使用しても構わない。なお、寸法等において、大きく異なる場合については、水道部と協議を行うこと。また、必要に応じて、材料承認等の提出を求めることがある。

止水栓ボックス 2号



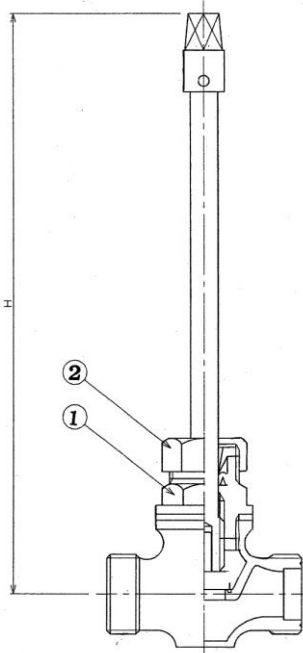
止水栓ボックス 3号



## 2. 止水栓

止水栓については、 $\phi 20\text{mm}$  と  $\phi 25\text{mm}$  は特長上部付甲型止水栓、 $\phi 30\text{mm}$ ～ $\phi 50\text{mm}$  は、砲金製ソフトシール仕切弁【ロングスピンドル】を使用すること。規格としては、(社)日本水道協会の認証品又は自己認証品であり、高さHが下記の表のとおりのもとする。また、特長上部付甲型止水栓については、材料①の平行ネジが下記の基準であり、かつ、材料②の平行ネジについては、材料①の径より小さいものとする。その他の規格については、下記のとおりとする。なお、必要に応じて、材料承認等の提出を求めることがある。

特長上部付甲型止水栓 ( $\phi 20\text{mm}$ ,  $\phi 25\text{mm}$ )



呼び径	高さH	
	最大	最小
$\phi 20\text{mm}$	221mm	208mm
$\phi 25\text{mm}$	241mm	225mm

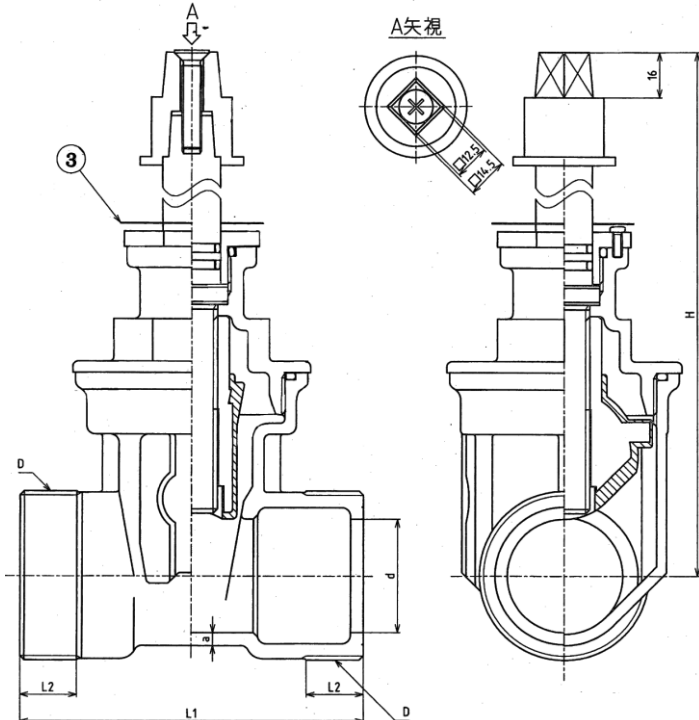
呼び径	平行ネジ径
$\phi 20\text{mm}$	$\phi 26.0\text{mm}$
$\phi 25\text{mm}$	$\phi 32.5\text{mm}$

その他規格

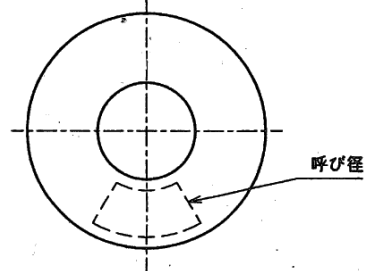
- 1 逆流防止機能付
- 2 左回り開き, 右回り閉じ
- 3 コマ式止水栓

---

砲金製ソフトシール仕切弁【ロングスピンドル】 ( $\phi 30\text{mm}$ ～ $\phi 50\text{mm}$ )



表示板表面図 材料③



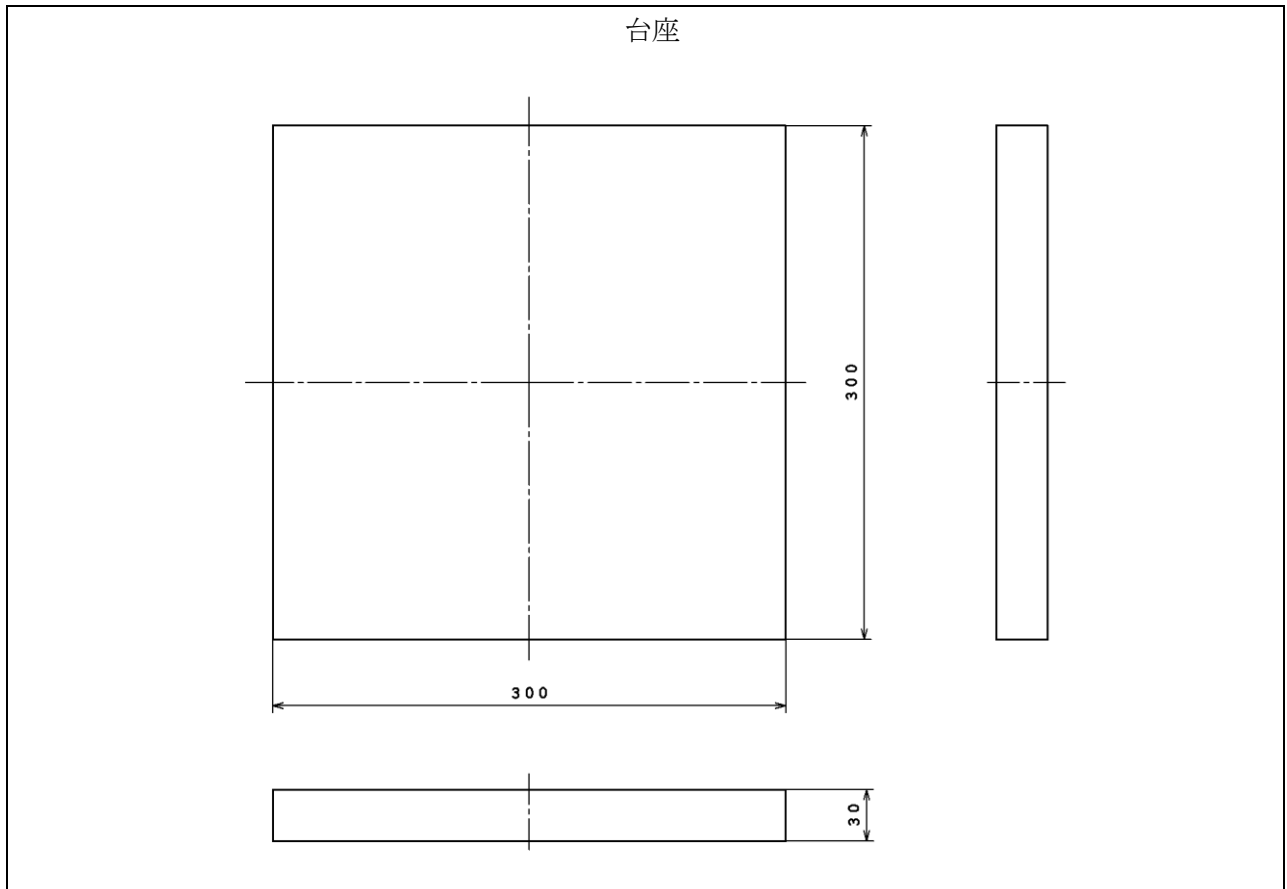
呼び径	高さH	
	最大	最小
$\phi 30\text{mm}$	291mm	286mm
$\phi 40\text{mm}$	301mm	300mm
$\phi 50\text{mm}$	331mm	330mm

その他の規格

- 1 左回り開き, 右回り閉じ

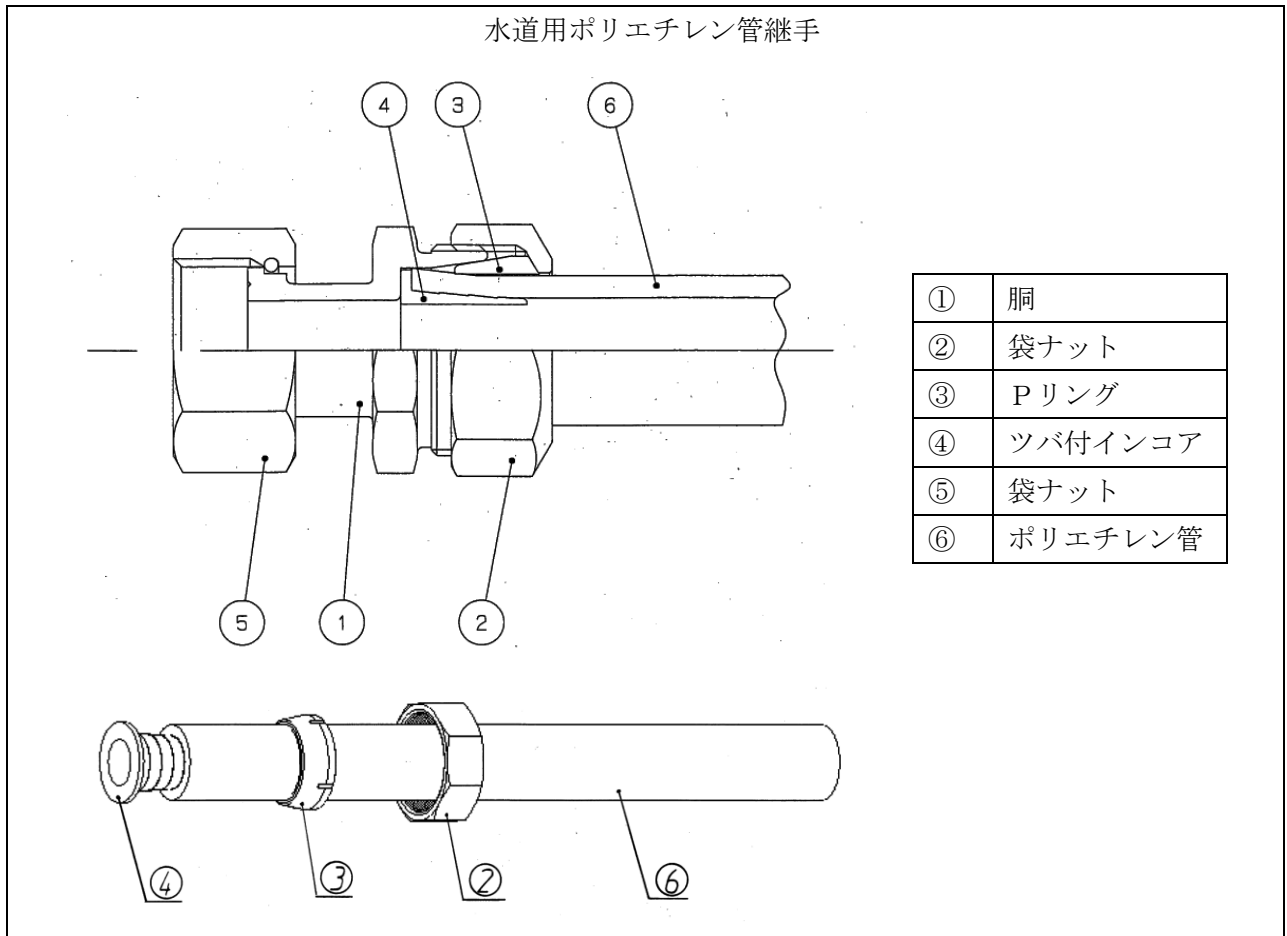
### 3. 台座

台座は、材質は再生プラスチックで、寸法については、下記のとおりとする。なお、同等品の材料及び近似した寸法のものであれば、使用しても構わない。また、必要に応じて、材料承認等の提出を求めることがある。



#### 4. 水道用ポリエチレン管継手（金属継手）

水道用ポリエチレン管継手については、（社）日本水道協会の認証品（JWWA B 116）であり、インコアがツバ付のものを使用すること。また、必要に応じて、材料承認等の提出を求めることがある。



## 5. 水道用サドル付分水栓

水道用サドル付分水栓については、(社)日本水道協会の認証品(JWWA B 117)であること。原則、(社)日本水道協会の認証品のみの使用しか認めないが、(社)日本水道協会の認証品以外のものをやむを得ず使用する場合は、水道部と協議を行った上、自己認証を取得したものの使用を認める。なお、自己認証品の $\phi 75\text{mm} \times \phi 50\text{mm}$ については、上記の内容のほか、被分岐管がダグタイル鑄鉄管又は同等以上のものであり、かつ、サドルバンド幅 $W=200\text{mm}$ の規格を満たし、他の部品等については同等品又は近似寸法のものである場合において、水道部と協議を行った上、使用を認める。また、必要に応じて、材料承認等の提出を求めることがある。

使用するコアについては、すべて密着コアを使用すること。

